

## 第3章 計画の方向性

### 3.1 計画の方向性の考え方

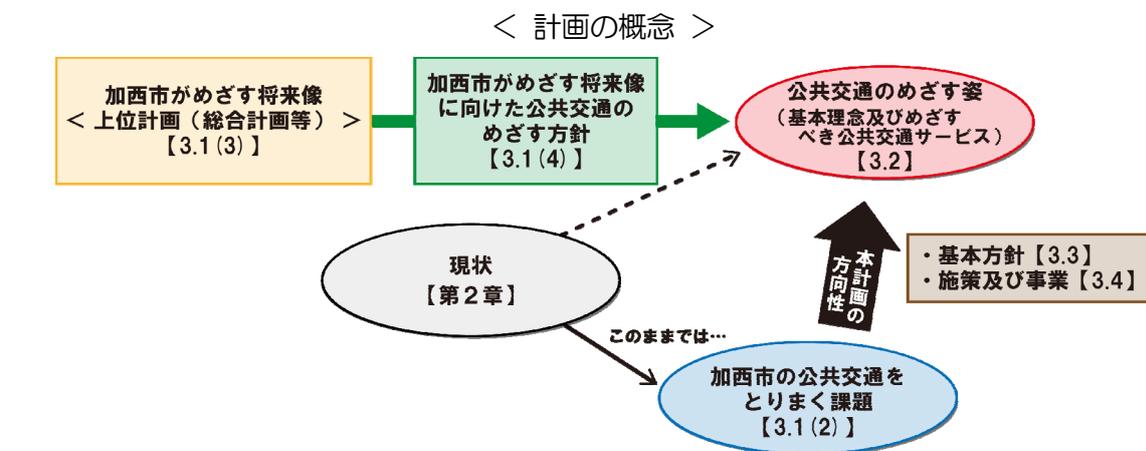
#### (1) 計画の方向性とは

計画とは、成り行き任せでは陥ってしまう地域の姿（課題）とめざすべき将来の姿との乖離を埋めるための手段です。また、地域公共交通網形成計画などの交通計画を検討するにあたっては、まちづくり関連の計画とセットで考えていくことが重要です。

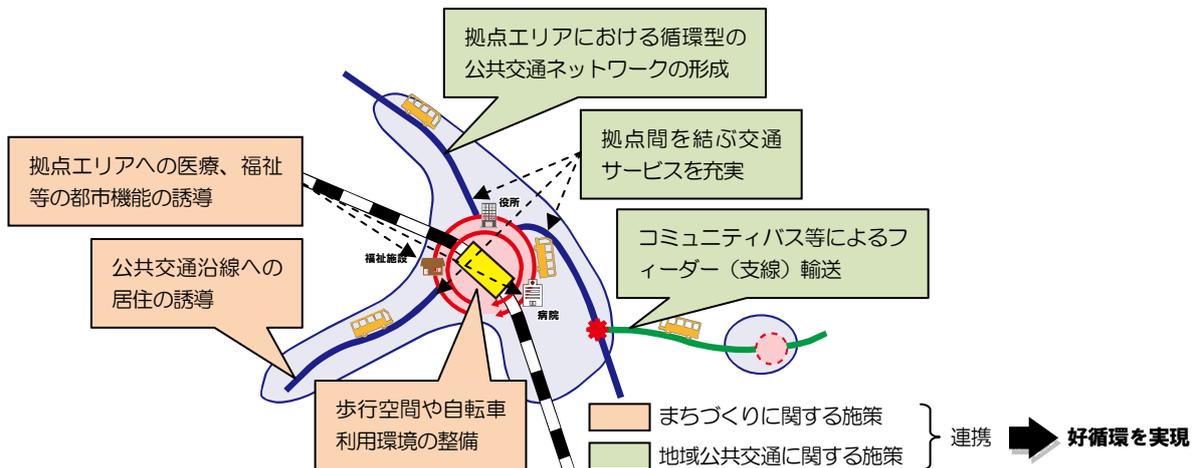
計画策定の第一歩は現状の正しい認識であり、加西市の交通を取り巻く現状を第2章で整理しました。次いで、このまま成り行きに任せておいた場合に直面するであろう課題を次頁3.1(2)で整理します。

そして、本計画のめざすべき将来の姿である公共交通のめざす姿は、上位計画で示されている加西市がめざす将来像（3.1(3)参照）に向けた公共交通のめざす方針を3.1(4)で整理した上で、次節3.2に本計画の基本理念及びめざすべき公共交通サービスの内容で示しています。

計画の方向性とは、この課題（3.1(2)参照）と公共交通のめざす姿（3.2参照）の乖離を埋めるための指針であり、基本方針を3.3に、施策及び事業を3.4に示します。



#### ＜ まちづくりと連携した交通計画のイメージ ＞



出典) 「地域公共交通網形成計画及び地域公共交通再編実施計画作成のための手引き」を基に加筆

(2) 加西市の公共交通をとりまく課題

加西市の交通をとりまく現状を受けて、このまま成り行きに任せておいた場合に直面するであろう公共交通をとりまく課題は以下のとおりとなります。

< 加西市の公共交通をとりまく課題 >

- ・ 今後の人口減少の進展による活力低下の懸念
- ・ 市内に多く残されている鉄道、バス不便地域
- ・ 市民の約3割を占めるクルマを気軽に利用できない人の外出機会の低下
- ・ 増加する自動車運転免許返納者やクルマを気軽に利用できない人の十分な移動手段となり得ていない公共交通
- ・ 高齢ドライバーの増加に伴う高齢者による交通事故の増加
- ・ JR加古川線・神戸電鉄粟生線との運行本数の違いにより、不便さが残されている北条鉄道
- ・ 乗り換え情報が十分ではない一部の交通結節点
- ・ 自動車依存からなる公共交通に関心が低い多くの市民

(3) 加西市がめざす将来像（上位計画）

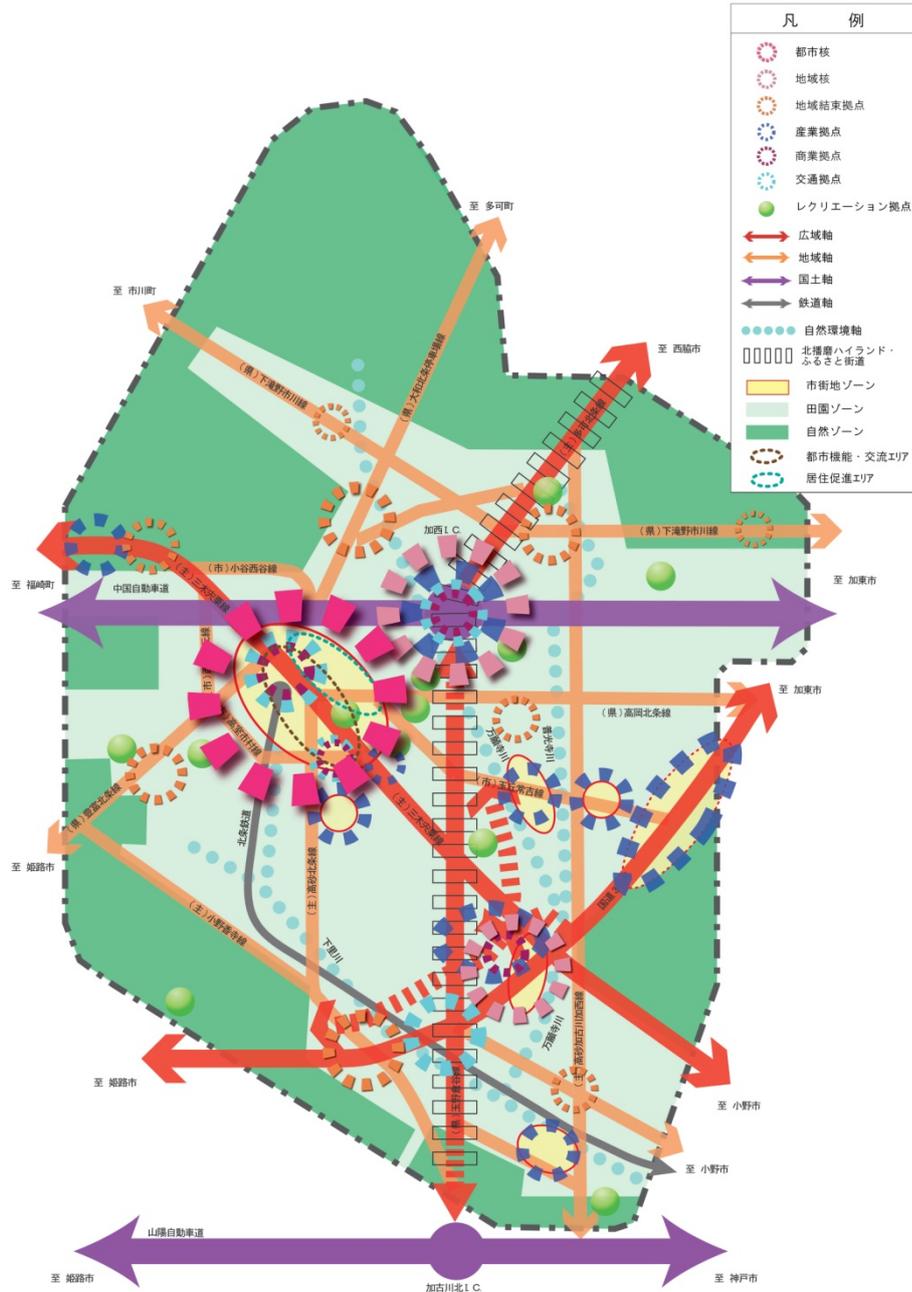
加西市がめざす将来のまちづくりの方向性は、「第5次加西市総合計画」に示されています。

総合計画では、「加西市のめざす姿・将来像」、将来像を実現するための「政策」を以下のとおり示しています。また、持続可能なまちづくりを進めるため、都市の骨格の構成要素である「核」「拠点」「軸」「ゾーン」を示した将来都市構造図が「都市計画マスタープラン」で設定されています。

< 第5次加西市総合計画（2016（H28）年3月）の概要 >

<p>■ 加西市のめざす姿・将来像</p> <p>前期計画：加西の元気力 加西の良さを活かした元気力の追求                  後期計画：多様なくらし 夢がかなう「未来の田舎」かさい                  加西の元気力 加西の良さを活かした元気力の追求</p>																		
<p>■ 計画期間</p> <p>前期計画：2011（H23）年～2015（H27）年（5年間）                  後期計画：2016（H28）年～2020年（5年間）</p>																		
<p>■ 政策</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>基本政策</th> <th>政策</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">子どもが元気に育ちいきいきと活動する加西</td> <td>政策1 明日を担い未来へつなげる人づくり</td> </tr> <tr> <td>政策2 郷土に誇りを持てる家庭・学校・地域の輪づくり</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">雇用と経済が元気を取り戻す加西</td> <td>政策3 地域の豊かさと元気を取り戻す産業づくり</td> </tr> <tr> <td>政策4 都市の魅力と快適さを高めるまちづくり</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">誰もがみんな元気で安心して暮らせる加西</td> <td>政策5 誰もが最期まで元気に暮らせる健康づくり</td> </tr> <tr> <td>政策6 身近な幸せを実感できる安全と安心の暮らしづくり</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">地球に優しい環境都市加西</td> <td>政策7 自然環境の保全と特色ある景観づくり</td> </tr> <tr> <td>政策8 循環型社会をめざす生活環境づくり</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">パートナーシップによる地域経営</td> <td>政策9 住民参画・男女参画で地域を元気にする加西</td> </tr> <tr> <td>政策10 健全な行財政運営の確立</td> </tr> </tbody> </table>		基本政策	政策	子どもが元気に育ちいきいきと活動する加西	政策1 明日を担い未来へつなげる人づくり	政策2 郷土に誇りを持てる家庭・学校・地域の輪づくり	雇用と経済が元気を取り戻す加西	政策3 地域の豊かさと元気を取り戻す産業づくり	政策4 都市の魅力と快適さを高めるまちづくり	誰もがみんな元気で安心して暮らせる加西	政策5 誰もが最期まで元気に暮らせる健康づくり	政策6 身近な幸せを実感できる安全と安心の暮らしづくり	地球に優しい環境都市加西	政策7 自然環境の保全と特色ある景観づくり	政策8 循環型社会をめざす生活環境づくり	パートナーシップによる地域経営	政策9 住民参画・男女参画で地域を元気にする加西	政策10 健全な行財政運営の確立
基本政策	政策																	
子どもが元気に育ちいきいきと活動する加西	政策1 明日を担い未来へつなげる人づくり																	
	政策2 郷土に誇りを持てる家庭・学校・地域の輪づくり																	
雇用と経済が元気を取り戻す加西	政策3 地域の豊かさと元気を取り戻す産業づくり																	
	政策4 都市の魅力と快適さを高めるまちづくり																	
誰もがみんな元気で安心して暮らせる加西	政策5 誰もが最期まで元気に暮らせる健康づくり																	
	政策6 身近な幸せを実感できる安全と安心の暮らしづくり																	
地球に優しい環境都市加西	政策7 自然環境の保全と特色ある景観づくり																	
	政策8 循環型社会をめざす生活環境づくり																	
パートナーシップによる地域経営	政策9 住民参画・男女参画で地域を元気にする加西																	
	政策10 健全な行財政運営の確立																	

＜「都市計画マスタープラン」における将来都市構造図＞



**【都市核】**

加西市の中心であり、公共施設や生活利便施設が多く立地するなど、旧来から様々な都市機能が集積している市役所や北条町駅周辺の市街地及び土地区画整理事業で新たなまちづくりが進み、南部地域の商業機能の受け皿となる東高室交差点周辺を「都市核」とする。

**【地域核】**

加西市の玄関口で交通拠点であり合併前の旧泉町の中心として北部地域の商工業の中心地となるべき中国自動車道加西インター周辺地区、国道 372 号とそのバイパス機能を有する市道鶉野飛行場線に挟まれた旧加西町の中心として東部地域の商工業の中心地となるべき中野・鶉野地区の2地区を「地域核」とし、産業面を中心とした都市機能の強化を図る。

**【地域結束拠点】**

各小学校区の中心として旧来から地域の中心的な役割を担い、日常生活において地域の都市機能が集積している複数の拠点及び幹線道路沿道や、駅周辺で旧来から生活利便施設が集積している拠点を「地域結束拠点」とし、都市核及び地域核と接続する小さな拠点としての機能強化を図るとともに、周辺集落地をサポートし地域連携を図る。

**【交通拠点】**

加西市において人やものの広域的な交流を促進するために重要となる交通結節点として、中国自動車道加西インターチェンジや東高室交差点、北条鉄道北条町駅及び法華口駅を「交通拠点」とし、機能強化を図る。

## (4) 加西市がめざす将来像に向けた公共交通のめざす方針

加西市がめざす将来像が示されている上位計画である「第5次加西市総合計画(2016〔H28〕年3月)」の「めざす姿・将来像」及び「目標(基本政策)」で掲げられている内容を踏まえ、加西市がめざす将来像に向けた公共交通のめざす方針を以下に示します。

＜ 加西市がめざす将来像に向けた公共交通のめざす方針 ＞

総合計画		めざす姿 将来像	加西市がめざす将来像に向けた公共交通のめざす方針
目標(基本政策)			
加西の元気力 多様な暮らし 加西の良さを活かした元気力の追求 夢がかなう「未来の田舎」かさい	①	明日を担い未来につながるまちと人づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>公共交通を整備し外出を支援することで、人とのコミュニケーションや交流機会の創出を促す</li> <li>北条鉄道などの公共交通を通じた郷土愛の醸成により、加西市の未来の担い手を育成する</li> </ul>
	②	郷土に誇りを持つ家庭・学校・地域の輪があるまち	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域に密着した鉄道やバスの運行により、地域から学校や商業施設、医療施設などを結び、地域のつながりの輪を広げる</li> </ul>
	③	地域の豊かさや活気あるまち	<ul style="list-style-type: none"> <li>仕事場や観光地までを公共交通でつなぐことで、公共交通を使った地域の活性化をめざす</li> </ul>
	④	都市の魅力と快適性の高いまち	<ul style="list-style-type: none"> <li>自動車と公共交通それぞれの利点を活かすことで、自動車を問題なく利用できる人も自動車を利用しづらい人も移動しやすい環境を整備し、自動車と公共交通が共存できるまちづくりをめざす</li> <li>郊外で住んでいる人が住み慣れた地域内で暮らしやすくするとともに、買物や医療などが集積している市街地へも行きやすい公共交通の整備をめざす(但し、市街地の新たな拡大は抑制)</li> </ul>
	⑤	誰もが元気に暮らせるまち	<ul style="list-style-type: none"> <li>公共交通を整備することで、外出しやすい環境を作り、高齢者等の健康増進をめざす</li> </ul>
	⑥	身近な幸せを実感できる安全・安心なまち	<ul style="list-style-type: none"> <li>公共交通の利用を促進することで、自動車事故を防止し、安全・安心な社会をめざす</li> <li>気軽に自動車を運転できない高齢者や障がい者、妊産婦、子どもなどが公共交通を利用して安心して暮らせるまちをめざす</li> </ul>
	⑦	自然環境の保全と特色ある景観があるまち	<ul style="list-style-type: none"> <li>北条鉄道をふるさと加西の魅力を高める地域資源として育成、発信することで加西の風土を活かした景観づくりをめざす</li> </ul>
	⑧	循環型社会が実現したまち	<ul style="list-style-type: none"> <li>モビリティ・マネジメントの推進により、不必要な自動車の利用を抑制し、環境に配慮した循環型社会をめざす</li> </ul>
	⑨	住民参画・男女参画による元気なまち	<ul style="list-style-type: none"> <li>住民の参画と行政との協働により、地域が主体となった交通づくりや公共交通の利用促進を行うことで、官民協働の元気なまちづくりをめざす</li> </ul>
	⑩	健全な行財政運営が確立したまち	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域公共交通の確保・維持により、医療や福祉分野などの他分野の行政コストの支出抑制をめざす</li> <li>必要な財源は確保し、限られた予算の中で、市民にも多少の不便を分かち合ってもらいながら、持続可能な公共交通をめざす</li> </ul>

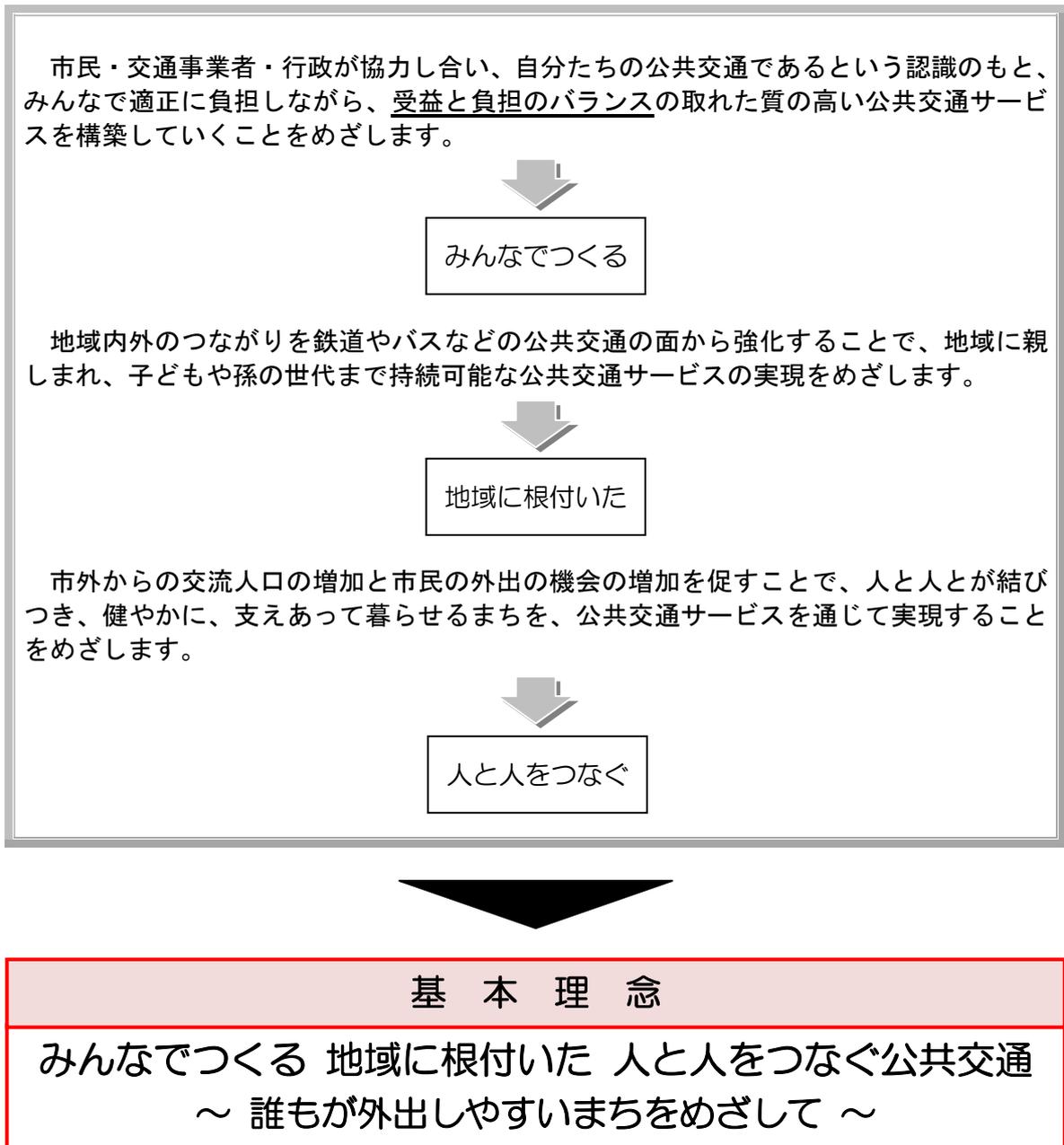
## 3.2 公共交通のめざす姿（基本理念及びめざすべき公共交通サービス）

### (1) 基本理念

公共交通のめざす姿として、加西市の公共交通のあり方を示す本計画の基本理念を、以下のよう設定します。

この基本理念の達成により、誰もが外出しやすいまちをめざします。

#### ■ 基本理念の考え方



(2) めざすべき公共交通サービス

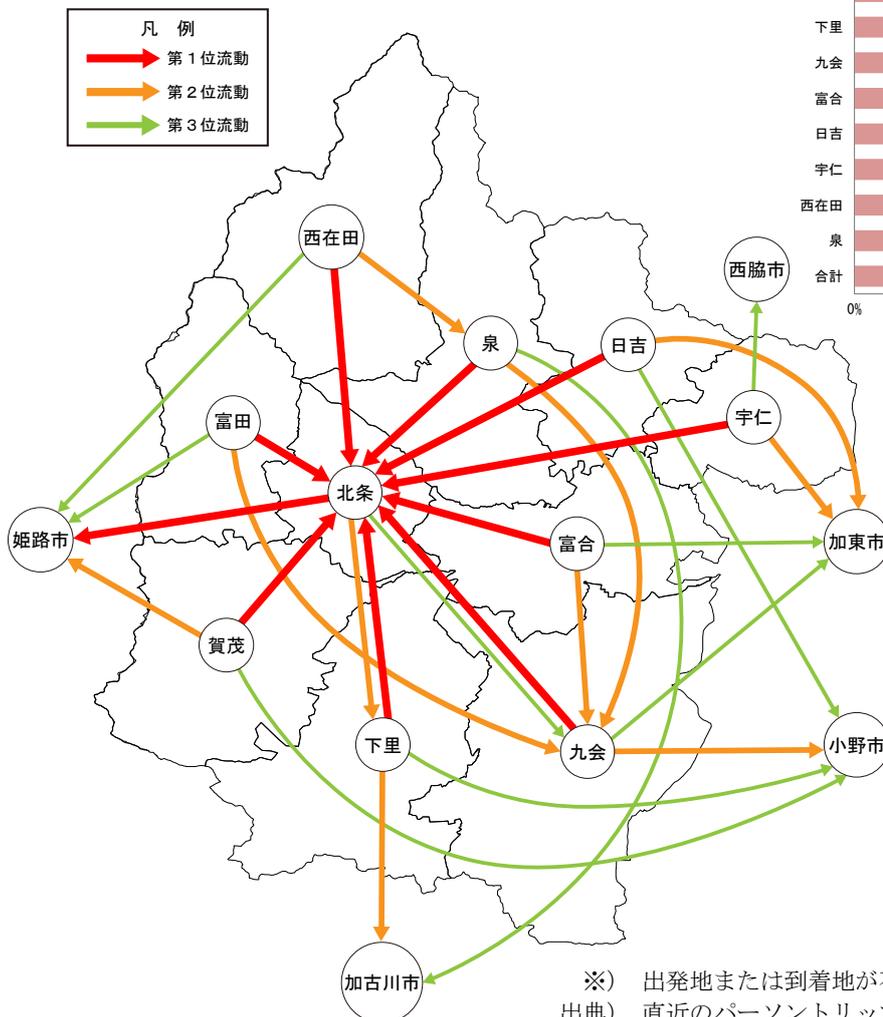
① めざすべき公共交通サービスの考え方

めざすべき公共交通サービスは、公共交通以外の手段（自動車や自転車、徒歩）で行きたい場所に行けない人など、公共交通を必要としている人の移動需要に対応したサービスを提供することが重要です。

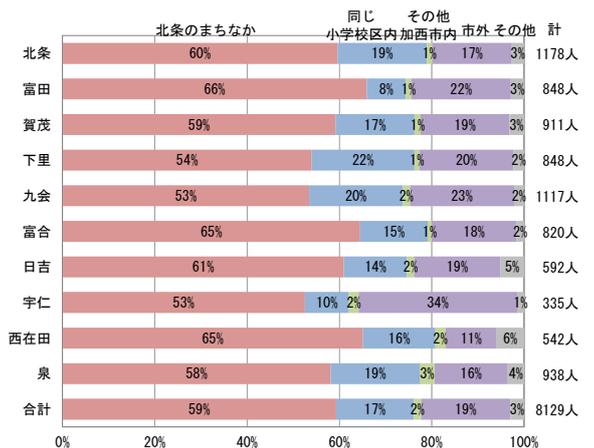
市民の移動需要を見ますと、どの地域でも、加西市の中心市街地である北条地区への移動が多くなっています。また、北条地区以外では、九会、下里、泉地区が主な行き先になっています。公共交通の主な利用者である高齢者がよく行く場所を見てみますと、市内の全ての地域において「北条のまちなか」によく行くという回答が半数以上を占めています。

このように加西市民の皆様は、日常生活に必要な様々な施設が集積した北条地区への移動需要が高いことが分かります。

< 各地域居住者の主な行き先 >



< 高齢者の主な行き先 >



出典) 2014 (H26) 年高齢者アンケート調査

ここで、日常生活に必要となる生鮮食料品を買うことができる買物施設、病気を診てもらったり薬を貰うことができる医療施設、お金の引き出しや預け入れができる金融施設を「生活必須施設」と定義し、その立地状況を地区別に整理した上で集積状況を確認すると、北条地区では生活必須施設が集積しています。その他の地区では賀茂、下里、九会、富合、日吉、泉地区において3種類の施設が立地しており、そのうち下里、九会、泉地区では500m以内に2種類の施設が集積しています。これらのことから、北条地区を「中心拠点」、下里、九会、泉地区を「地域拠点」と位置づけます。この結果は、先述した各地域居住者の主な行き先の結果と概ね同様となっています。

なお、上位計画である都市計画マスタープランにおける将来都市構造図では、北条地区を都市核、泉地区及び九会地区を地域核、各地区の中心を地域結束拠点として位置づけています。将来都市構造の実現に向けて、まちづくりと連携した交通計画を立案することが重要です。特に、地域結束拠点の形成については、交通面からのサポートも重要です。

今後、拠点整備などのまちづくりが進展していく場合は、そのまちづくりと連携した公共交通サービスが必要となりますが、本計画の目標年次が5年後の2022年度であることから、まずは当面のめざすべき公共交通サービスとして、施設立地状況が現状のままであるとして、現状の移動需要に則したネットワークの構築を検討します。

< 地区別に見た生活必須施設立地状況一覧 >

	上位計画における位置づけ	生活必須施設			生活必須施設の集積状況	拠点
		買物施設	医療施設	金融施設		
		スーパー、生鮮食料品店 (コンビニ含む)	病院、医院、薬局	郵便局、銀行、信用金庫 (ATMのみ施設含む)		
北条	【都市核】	◎(◎)	◎	◎(◎)	◎(◎)	中心拠点
富田	【地域結束拠点】	-(○)	-	○(◎)	-(一)	
賀茂	【地域結束拠点】	○(○)	○	○(◎)	×(×)	
下里	【地域結束拠点】	○(◎)	◎	○(◎)	△(△)	地域拠点
九会	【地域核】	△(○)	◎	○(◎)	△(◎)	地域拠点
富合	【地域結束拠点】	-(○)	○	◎(◎)	-(×)	
日吉	【地域結束拠点】	-(○)	○	◎(◎)	-(×)	
宇仁	【地域結束拠点】	-(一)	-	○(○)	-(一)	
西在田	【地域結束拠点】	-(一)	○	○(○)	-(一)	
泉	【地域核】	○(◎)	△	◎(◎)	△(○)	地域拠点

※) 各項目の定義

- ・【買物施設】◎：スーパー等2件以上あり ○：スーパー等1件あり △：商店1件あり -：なし ※( )内はコンビニも含む場合
- ・【医療施設】◎：病院・医院2件以上あり ○：病院・医院1件あり △：薬局のみあり -：なし
- ・【金融施設】◎：窓口がある施設2件以上あり ○：窓口がある施設1件あり ※( )内はATMのみの施設も含む場合
- ・【集積状況】◎：300m以内に3種類の施設が集積 ○：500m以内に3種類の施設が集積 △：500m以内に2種類の施設が集積  
×：3種類の施設が各々500m以上離れている -：3種類の生活必須施設が揃っていない

② めざすべき公共交通サービスの要素

公共交通サービスは、大きく分けて「ネットワーク（路線）」「ダイヤ・本数」「運賃」「車両」「駅・バス停（待ち環境含む）」「情報」の6つの要素があります。めざすべき公共交通サービスは、これら6つの要素で以下のように利用者が利用しやすいサービスとなっていることが重要です。

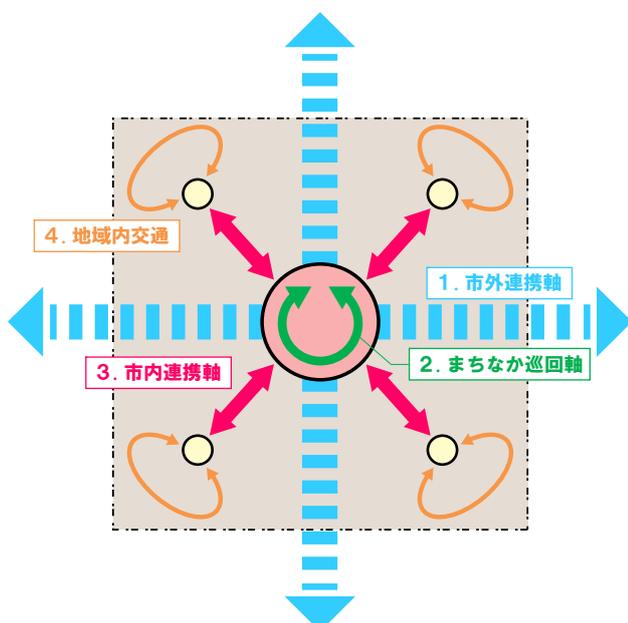
＜ めざすべき公共交通サービスの内容 ＞

<b>ネットワーク（路線）</b>	：行きたいところに行くことができる
<b>ダイヤ・本数</b>	：本数が多いことが望ましいが、本数が少なくても行きたい時間にダイヤが設定されている
<b>運賃</b>	：受益者負担の考え方を原則とした、最適な料金設定
<b>車両</b>	：バリアフリー対応など、誰にとっても利用しやすい車両
<b>駅・バス停</b>	：バリアフリー対応はもちろんのこと、鉄道やバスを待ちやすい環境や乗り継ぎ環境の充実
<b>情報</b>	：ダイヤや運賃、料金割引制度など、知りたい情報が入手しやすい環境やダイヤのパターン化などの分かりやすい情報提供

③ 加西市における公共交通ネットワークの階層構造

めざすべき公共交通ネットワークの設定にあたっては、前述した加西市民の皆様の移動需要に対応することが重要ですが、その他にも加西市外からの来訪者についても考慮して設定する必要があります。これら加西市民の皆様の市内や市外への移動需要や、加西市外の人が来訪する移動需要に対応するためには、公共交通ネットワークの役割分担が必要であり、以下の階層構造を基本として設定することが望ましいと考えます。

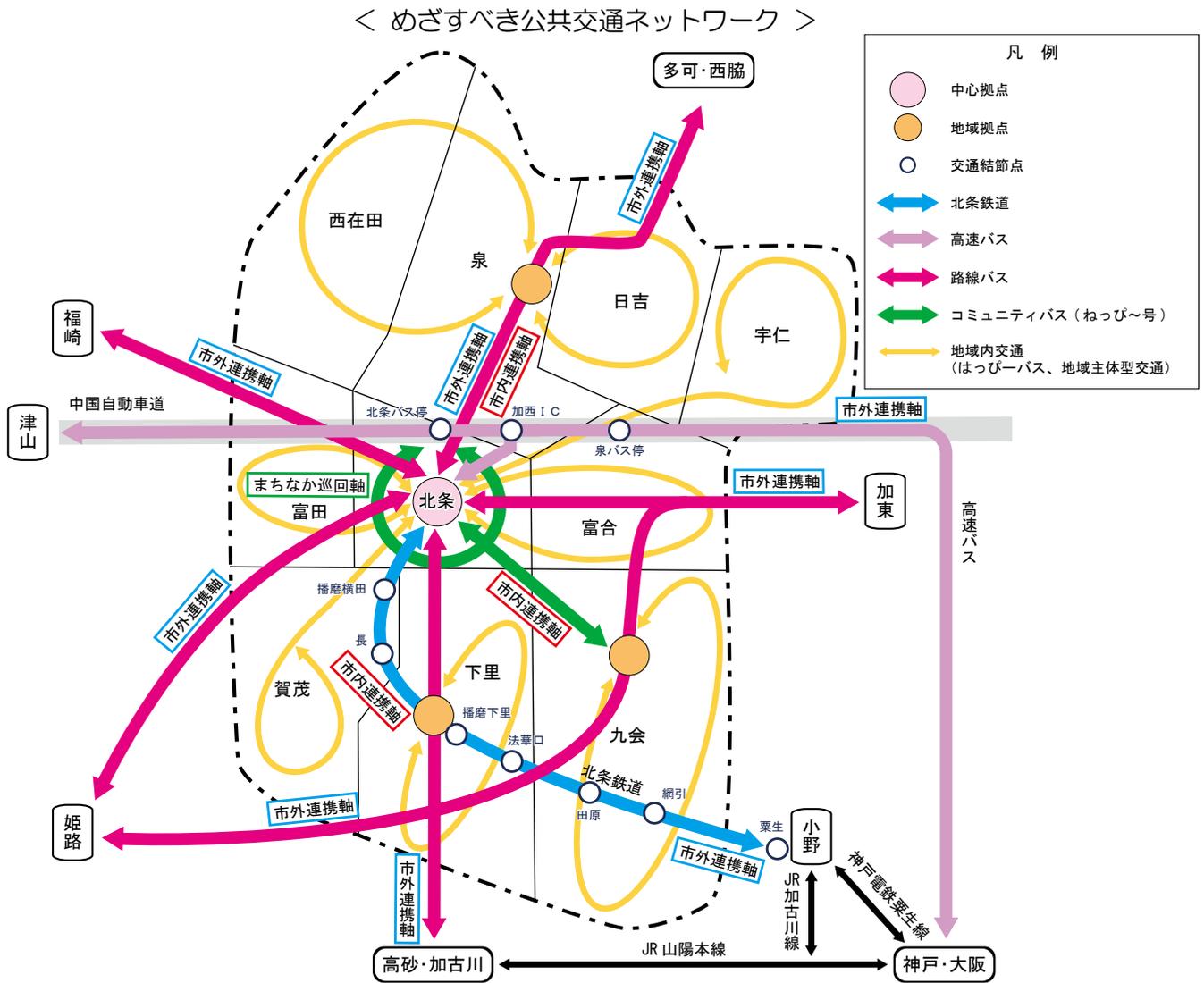
＜ 加西市における公共交通ネットワークの階層構造 ＞



- 1. 市外連携軸**  
市民が市外へ行きやすくするためだけでなく、市外からの来訪者も移動しやすくするために、市内と市外を結ぶ公共交通を整備
- 2. まちなか巡回軸**  
北条のまちなかで通院や買物等の回遊をしやすくするために、中心市街地を巡回できる公共交通を整備
- 3. 市内連携軸**  
市民の買物や通院等の外出をしやすくするために、各地区から中心市街地である北条地区までを結ぶ公共交通を整備
- 4. 地域内交通**  
生活必須施設（買物、医療、金融）へ外出をしやすくするために、最寄りの生活必須施設まで行けるような公共交通を整備

④ めざすべき公共交通ネットワーク

施設立地状況などの現在の「まち」の状況や、今後加西市がめざすまちづくりの将来像、市民の現在の移動需要、役割分担された階層構造の考え方を踏まえ、加西市のめざすべき公共交通ネットワークは下図のようになります。なお、市境界付近に居住されている人は加東市や小野市などの隣接市町への移動需要があるため、将来的には公共交通で接続することも視野に入れながら検討を進めます。



種別	対応する現在の公共交通機関
<b>1. 市外連携軸</b>	北条鉄道、高速バス、路線バス
<b>2. まちなか巡回軸</b>	ねっぴ〜号（市街地線）
<b>3. 市内連携軸</b>	ねっぴ〜号（国正線、九会線、フラワーセンター線）、路線バス、北条鉄道
<b>4. 地域内交通*</b>	はっぴーバス、地域主体型交通

※）地域内交通の考え方としては、生活必須施設（買物施設、医療施設、金融施設）までの交通として運行するものである。従って、地区内に生活必須施設がある場合は地区内での運行、地区内に生活必須施設がなく、隣接地区にある場合は隣接地区までの運行、地区内にも隣接地区にも生活必須施設が無い場合は、北条鉄道・路線バス等の他の公共交通との役割分担を図りながら北条地区までの運行を行うものとする。

### 3.3 基本方針

加西市の公共交通を持続可能なものとしていくためには、行政のみだけでなく市民の皆様の協力がなければめざすべき公共交通の実現は困難です。基本理念にもあるように、「みんなで」よりよい公共交通を作っていきたいと考えています。

以上を踏まえて、「みんなでつくる 地域に根付いた 人と人をつなぐ公共交通 ～誰もが外出しやすいまちをめざして～」の基本理念の実現に向けて、本計画を推進するにあたって、3つの基本方針を設定しました。

#### < 基本方針 >

基本理念

みんなでつくる 地域に根付いた 人と人をつなぐ公共交通

誰もが外出しやすいまちをめざして

基本方針1: みんなが利用しやすい公共交通網の構築

公共交通は、全ての人々が利用する「公共」の乗り物であることから、分かりやすく、使いやすい公共交通とすべきであり、行政のみだけでなく、利用者である市民の方からの意見も広く取り入れた利用環境の改善が必要です。

加西市にある公共交通不便地域などを縮小させるために、行政のサポートのもと、市民が主体となった地域主体型交通の導入推進等を行うとともに、鉄道やバスのサービス向上や連携強化を図り、市民のみならず市外の方も含めた全ての方が、利用しやすい公共交通体系を構築していきます。

基本方針2: 利便性の高い公共交通結節点の整備

鉄道駅やバス停において、さらなる利便性向上を図るためには、鉄道・バス待ち環境の改善などのハード面からの整備が必要であるとともに、わかりやすい時刻表や路線図の作成などのソフト面からの整備が必要です。

鉄道駅やバス停における待ち合い環境の改善や、交通手段相互の乗り換えがしやすい結節点整備を行うとともに、市民や初めて加西市へ来られた市外の方でも分かりやすい乗り継ぎ情報を提供することにより、利便性の高い公共交通結節点を整備していきます。

基本方針3: 地域のさらなる結びつき強化を図る公共交通の利用促進

公共交通は自動車と比べ、人と顔を合わす機会が多い交通手段であり、コミュニケーションの場ともなっています。従って、公共交通を利用促進することにより、地域の結びつき強化が期待できます。公共交通の利用促進を図るためには、すべての方が公共交通を利用しやすい環境を構築することが必要です。

そのため、公共交通を特に必要としている高齢者や子育て世帯等が利用しやすい料金施策の推進や、これらの内容も含めた公共交通に関する情報を積極的に発信していきます。また、各種イベントや施策を通じて、現在公共交通を利用していない人に公共交通に関心を抱いていただく取り組みを推進していきます。これらの公共交通の利用促進により、地域のさらなる結びつき強化を図っていきます。

### 3.4 施策体系

基本理念である「みんなでつくる 地域に根付いた 人と人をつなぐ公共交通 ～誰もが外出しやすいまちをめざして～」の実現に向けて定めた、「みんなが利用しやすい公共交通網の構築」「利便性の高い公共交通結節点の整備」「地域のさらなる結びつき強化を図る公共交通の利用促進」の3つの基本方針に基づいて、以下の11の施策を設定しました。

< 施策体系 >

基本理念	基本方針		施策	
みんなでつくる 誰もが外出しやすいまちをめざして 地域に根付いた 人と人をつなぐ公共交通	I	みんなが利用しやすい公共交通網の構築	1	各地区最寄りの生活必須施設まで行きやすくする公共交通の整備
			2	中心拠点へ行きやすくする公共交通の整備
			3	中心拠点内を周遊しやすくする公共交通の整備
			4	市外との連携を強化する公共交通の整備
	II	利便性の高い公共交通結節点の整備	5	待ち合い環境を改善する公共交通結節点の整備
			6	鉄道・バスと自転車・自動車の連携強化
			7	分かりやすい運行情報の提供
	III	地域のさらなる結びつき強化を図る公共交通の利用促進	8	利用しやすい料金体系の構築
			9	積極的な公共交通情報の発信
			10	新たな利用開拓に向けた取り組みの実施
			11	公共交通に関心を抱いてもらう取り組みの推進